

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 93

政策体系	45	事業分類	ソフト事業	所管部局	美山支所 地域総務課
会計	一般会計	科目	2.総務費 - 1.総務管 - 9.地域振 現年		
事業名	地域活性化支援事業				
細事業名	美山まちづくり委員会支援事業				
				評価表作成者	美山支所 地域総務課 井上 操

1. 事業の概要

地域が一体となり、地域住民が自ら地域の課題を掘り起こし個性ある地域づくりや人材の育成をめざす組織の活動に対して補助金を交付した。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

行政主体のまちづくりから市民との協働による「まちづくり」が可能となる。

② 事業を実施する必要性

地域の課題を共有し全体のものとして考えるとともに、その方向性等を助言をしていくことにより、地域の活性化やまちづくりの糧となることから、本事業の実施は必要不可欠である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	0	270	219	219	219	219	219
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	270	219	219	219	219
職員等の従事人員	人/年	—		0.22	0.22			
人件費	千円	—		1,322	1,439			
事業費総額	千円	—		1,541	1,658			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

美山まちづくり委員会補助金 219,000円

5. 事業結果の概要

「魅力ある美山のまちづくり～地域課題に挑む～」冊子を作成し美山町域全戸に配布し、市民一人ひとりがまちづくりの主人公であり参画いただくことを呼びかけた。
 農業問題については、少子高齢化問題と合わせ美山の最重要課題であるが、基本は各集落・地域での取り組みが中心に行われるべきであり、その体制作りも徐々に集落・地域によって取り組みだされている現状がある。

6. 活動の詳細

(1) 委員会の開催		
●まちづくり委員会の開催 地域課題解決策を検討する会議を開催	定期的に月1回開催	年間 12回開催
(2) がんばる美山の応援基金		
●基金への協力呼びかけ ●基金活用 特定非営利活動法人芦生自然学校の『クリーンリバー作戦』に対し補助	基金受付：4月1日～3月31日	基金協力者 累計64名 補助申請団体 1団体 採択
(3) 研修会		
●美山フォーラムの開催（南丹市・佛教大学との共催） 基調講演：講師 金丸弘美氏 演題 田舎力の発見 パネルディスカッション： 地域内の『地産地消』に取り組む3人の 方 による活動報告と意見交換を実施	2月19日（土）	南丹市民約160名参加
(4) 補助金事業の活用		
●南丹市市民提案型まちづくり交付金 過疎地有償輸送の取り組みについて先進地視察を実施。 住民への聞き取り調査を実施。 ●京都府地域力再生プロジェクト支援交付金事業 Iターン・Uターン推進研修 定住促進研修会	先進地視察：12月4日 聞き取り調査：1月27日～28日 研修会：9月24日 11月8日	視察 11名参加 聞き取り調査 30名の協力 両研修会 延べ46名
(5) 他団体との連携		
●産官学公連携協議会との連携による各課題解決に向けた協議、取組みの実施 ●日本風景街道として新たに『西の鯖街道』が登録	協議会活動：4月1日～3月31日 風景街道新規登録：11月11日	課題解決に向け4プロジェクトで取組み。 美山管内に2本の風景街道が登録。

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

過疎、少子高齢化がすすむ美山地域における様々な課題解決に向けて、合併と同時に本委員会を設立し、主な課題について、地元関係機関との連携の中でプロジェクトを立ち上げ課題解決の提言や事業化を図っている。
課題解決のための事業化にあたっては、財源も要することから市民協働の観点から行政支援も必要である。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

市町村合併による周辺部の地域として、関係団体等が横断的に連携する中で地域の課題解決に挑むシステムとして構築された。有効なまちづくりの議論や提言はあるものの、課題解決のための事業化に向けた財源確保が課題となっており、協働の推進の観点から市の支援策の検討が必要である。

■平成21年度の所属長評価